令和2年度　　保育所自己評価 結果　　社会福祉法人くぬぎ会
（2020年度）　　佐井寺たんぽぽ保育園

1　園目標

身体をしっかり動かして、感性豊かに・元気で意欲のあるこども 自分の思いが素直に表現できるこども お友達と楽しく遊ぶことが好きなこども

2 今年度の主な取り組み内容

	重点的な取組状況
保育	毎日の生活の中で、個々の成長に合わせながら生活習慣を大切にしてきた。季節を感じる散歩に出かけたり、室内では、リズムや肋木・斜面等設置しこどもの身体づくりが楽しくできるような取り組みをしてきた。野菜を育て給食室で調理をしてもらったり、新型コロナ感染拡大防止対策として１人で完結できるごますりなど行い、食べることへの興味関心を広げた。
職員	職員間で子どもたちにとって何が大事かを考え、保育内容・行事の見直しを行っていった。こどもの個々の発達を見つめることを大事にしていった。新型コロナウイルスにより、保育での制限や配慮等多くあったが、職員間の声掛けや新しい職員も孤立しないように話し合いの場をもうけた。
保護者	園の様子を明確に知ってもらい、子どもの成長を共に喜びあえる関係を築けるように意識して伝えた。また、保護者会とも密に連絡を取り合い、保護者会や園運営が、子どもたちのためになるように、連携がとれた。新型コロナウィルス感染症の防止対策の理解と協力が伝えられるように発信していった。
園全体	新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が発令された為、通常保育ができなかった。就労保障のため開園していた。施設の老朽化がみられ、設備の点検なども意識して行うようにした。子どもたちはもちろん、保護者が安心して預けられるように、ヒヤリハットや事故報告の共有を行い、安全に過ごせるように心がけた。

3 今後の取り組み

重点的な取組	内容
保育	新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策を講じながら、子どもたちの発達・成長に必要な手立てを工夫しながら保育を組み立てていきます。
職員	職員間で連携を取り、こども一人ひとりが、健やかに成長できるように保育の質の向上を目指します。職員も学習できるように、リモートで研修を受講し資質向上を目指します。
園全体	新型コロナウィルス感染症に留意しながら、各行事を検討し、子どもの成長発達にとって大事なこと、大切にしたいことは何かをしっかり見つめていきます。施設の老朽化部分を確認し、安全な環境づくりをします。
保護者	新型コロナウィルス感染症対策での行事の変更や、送迎の仕方など変更のある所は、誰もがわかりやすく伝えていきます。保護者会活動も、集まっては難しいが、園との連携も取れるようにしていきます。